

全体会午後の部Ⅱ

司会者 (af・an) それではただ今より、全体会午後の部Ⅱを行いたいと思います。

午後の部Ⅱの司会を担当させていただきます瀬戸中学校3年 af と、瀬戸中学校1年 an です。よろしくお願いします。



後半も3本の意見発表があります。まずは後半1本めの意見発表です。瀬戸中学校2年 ak さん「命の重さとは」です。よろしくお願いします。

「命の重さとは」

瀬戸中学校2年 ak

皆さんはトロッコ問題を知っていますか？トロッコ問題とは、暴走するトロッコがあり、その進む先が、2方向に分かれています。右には4人の作業員。左には、1人の作業員がいます。暴走列車の存在を知らせることができません。自分は、偶然にもトロッコの進む方向を変えられるレバーの前において、どちらの道を選ぶかという問題です。皆さんは、どちらの方向を選びますか。今、左と答えた人は、命の重さが人数の少ない方が軽いと思ったからです。人数の多さで決めたのではないのでしょうか。僕もそうします。しかし、それで本当によいのでしょうか？4人を助けるために1人をあきらめていいのでしょうか？こ

の問題にどちらが正しいなどはありません。しかし、僕はその考えが差別などにつながっていくと思いました。

次の状況ではどうでしょうか。もし、トロッコの先の走路に猫が1匹、反対の走路には作業員が1人いたらどうしますか？数は一緒ですよ。しかし、多くの人が、作業員の命を優先するのではないのでしょうか。それは、猫と人間の命の重さを比べたときに、人間の命のほうが重いと思っているからだと思えます。

僕の考えでは、人は自分で勝手に命の重さの順番を作っているのです。一番は人間だと思っている人が多いと思いますが、それは一人一人違うし、それは自分の都合のいいように価値を決めているだけだと思うのです。

差別をする人も同じなのではないかと思えます。その人の価値に順番を決めつけているのではないのでしょうか。この人は自分より価値が低いからいじめる、差別するのではないのでしょうか。



この前、子猫がひかれて弱っていましたが、誰も助けようとしませんでした。みんな「かわいそうだな」というだけでした。僕もそうでした。しかし、それが人間の赤ちゃんならどうでしょう。みんな助けに行くでしょう。

しかし、本来は、このような命の重さに違いがあってはいけないと思います。猫でも鳥でも人間でも命の重さは、同じなのです。

もし、自分の命の重さが一番軽いと思われ

ていたらどう思いますか？ひかれていてもみんな助けてくれない、命を軽く評価されるのは間違っているし、嫌ですよ。男女差別や人種差別についても、人権や、命の重さが軽く判断されることで起こったのではないかと思います。そのような僕たちの考え方が、すべての差別のもとになっているのではないのでしょうか。僕は、命の重さについて、常に自分と向き合っていきたいと思います。そして、すべての命を大事にできる人になりたいです。

一つ一つの命を尊重する気持ちをもって、みんなが生きていけば、きっと差別のない社会に近づけると思っています。

皆さんも一度考えてみてはどうですか。
ご清聴ありがとうございました。

司会者 (af, an) ありがとうございました。どうぞ元の席に戻ってください。

続いて、後半2本めの意見発表です。八万中学校3年 au さん、「なりたい自分」です。よろしくお願いします。

「なりたい自分」

八万中学校3年 au

人の第一印象は見た目です。大部分が決まると言われているように、他人からは見た目や格好というのはよく見られます。あなたはその見た目に対してほめたり、からかったりしたという経験はありませんか。きっとそこに、それほどの悪意はなかったことだと思います。ですが、見た目を言われることがストレスになる人もいます。私もそうでした。

私は昔から、同級生の中では背が高い方でした。ですから、友達や親戚、初対面の人たちは、背が高いことをよくほめてくれました。

しかしそれがものすごくストレスに感じました。同級生より頭一つも大きかったので、異質すぎる自分の背の高さがコンプレックス

だったからです。ほめてくれる人に悪意がないことは分かっていたのですが、コンプレックスに嫌になるほどふれられ、自分が嫌いになるほど、精神的に追い込まれました。そんな時に祖母が、「その背の高さはみんなが欲しがる特別な個性やけん、自信をもちなさい」と助言をしてくれました。その言葉のおかげで、自分の背の高さに誇りを持てるようになりました。



私は見た目をからかわれたことは少ないのですが、母はその体験をしたことが何度かありました。小学生の頃、母は内またでいじめられました。仲の良かった友達が母を避け始め、理由を問いただすと、

「内またで、なんかぶりっ子っぽいからキモイ」

と言われたそうです。母の立場を考えると、すごくショックでつらかったらと思います。でも母は、「その子たちがそう感じたのなら仕方ない。でもそんな理由でいじめてた人たちのために落ち込んだりはしない」と言いました。そんな母を見て、自信のある人って、やっぱり格好いいなと思いました。

中学生の頃は、肌が青白いことから、仲の良いグループで「ゾンビ」というあだ名がついて、からかわれることがあり、それが嫌で友達に打ち明けると、すぐ謝ってくれて仲直りできたという話も聞きました。そのグループの子たちに悪気はなく、ただのノリで言ってしまったということを知り、私は一番怖い

パターンだなと思いました。見た目に対してノリでその人に一生の傷を心に負わせることにもなります。見た目に関することは、親しい仲でも相手が傷つく内容でないか注意して発言することが必要だと思います。「親しき仲にも礼儀あり」とは、まさにこのことだと感じました。

自分の見た目にコンプレックスである人は多いと思います。でも気にしすぎるとどんどん自分が嫌になって、自信をもてなくなってしまいます。そんな自分を変えるために、短所を長所に変えてみてください。あなたのコンプレックスは、他人から見ると羨ましい長所の可能性があります。変えることが難しければ、長所だけに目を向けるのもよいでしょう。そうすれば少しずつ自分を認めて、自分に誇りがもてる日がくるでしょう。

自分に自信をもつことは、人生を楽しむ方法の一つだと思います。誰にでもコンプレックスは存在しますが、そこから逃げ出さず、どう向き合っていくかを考えることが大事です。短所を長所に変え、いっそのこと長所だらけにして、自分をもっと好きになりたいです。そうして、どんな困難があっても負けずに輝ける、強い人に私はなりたいです。

ご清聴ありがとうございました。

司会者 (af, an) ありがとうございました。どうぞ元の席に戻ってください。

続いて、後半3本めの意見発表です。大麻中学校3年 aa さん、「個性について」です。よろしくお願いします。

「個性について」

大麻中学校3年 aa

私は以前、人権について語り合う交流会に参加しました。その時に出会ったのは、人権について真剣に考え、積極的に自分の意見を

発表する人たちでした。お話しした人の中には、右耳が聞こえにくかったり、吃音を持っていたりする人がいました。耳が聞こえにくいことで、話しかけられたことに気づけず無視をしたと勘違いされて悲しかったことや、滑らかに話すことができないことを悪く言われてしまったことなどを話してくれました。そして、私たちはそれぞれのもつ「個性」をどう思うのかを話し合いました。ある女の子は、自分の個性のことを友達に相談したら「全然大丈夫だよ。」と言ってくれてとても嬉しかったと話してくれました。私はその話を聞き、とてもほっとしました。それと同時に、友達が悩みを打ち明けてくれた時、自分は同じように言えるだろうかと考えました。

皆さんは自分の個性を隠そうとしたことはありませんか。好きなものや考え、話し方を否定されたり、からかわれたりすることを恐れたことはありませんか。私はあります。小さい時は、変わっていると思われることがとても嫌でした。素直に好きなものを言えずに、できる限りみんなに合わせようという思いが強かったです。しかし、今思えば、人と違っていることの何が悪いのか、むしろ誇れることで、みんなが同じ方向に行かなければいけないと思わせる空気自体、変だと感じます。



私は、人がさまざまな個性をもっていることが面白いと思います。作品や文章などにそれぞれの個性を見つけることが楽しいし、それにより見つかる、その人の良いところもた

くさんあります。私は個性を尊重し、人の良いところを見つめられる人になりたいです。

しかし、このように個性を認められない雰囲気は、今までいろいろなところで感じてきました。学校や社会で、少し息苦しい空気が残り続けてしまうのは、何が原因なのでしょう。私は、人権学習への向き合い方にあると思っています。これまで、たくさん人権について学んできました。そして、人権委員会での活動を通し、人権について学ぶことがどれほど大切であるかを知ることができました。人権学習では、自分ごととして考え、人として成長しようとする意欲が大事だと考えます。相手を思いやる言動は、自分の成長や人格を高めることにつながると思うのです。人権について真剣に考えるということは、人と自分両方の幸せを考えることと同じだと思います。人を理解しようという気持ちが芽生えていないことが、個性を否定してしまう原因であると考えました。

私は今までさまざまな人と出会い、たくさんの経験と出会いました。アニメ好きの人、旅好きの人、料理好きの人。自分の好きなことを語る全ての人を魅力的に感じます。そして、自分の個性を受け入れて生きること何より素敵だと思います。私がこれまで経験した嬉しかったこと、悲しかったこと、楽しかったこと、苦しかったこと。全てが今の私に生きていて、個性につながっています。私は、以前よりも今の方が、安心して自分の考えや好きなことを伝えられています。それは、私の周りにあたたかい空気が広がってきているからだと思っています。

私はその人が持つ一つ一つの個性を尊重し、あたたかい空気を広げていきたいです。そして、みんなが個性を伸ばし、豊かに生活できる社会をめざしていきたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。

司会者(af・an) 以上で、午後の部Ⅱの意見発表は終了しました。

それではこれから、意見発表を通しての討議にうつりたいと思います。発表についての感想や意見交換、参会者の皆さんの思いを語っていただければと思います。また、前半で発言しきれてない人や、付け加えるような内容のある人は、これが最後のチャンスとなりますので、ぜひ発表してください。

マイク係として、松茂中学校1年boさん、松茂中学校3年azさんの2人がフロアをまわります。

なお記録の関係上、発表者は学校名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしくお願いします。



松茂中学校1年(bm) 私は小学2年生の頃に、お母さんから命の大切さを学びました。そのときに人の命は大切だと思い、友達がこけそうになったのをかばって、自分がこけてしまい、自分が大けがをして帰ってきたことがあります。それでお母さんに、もう自分の命優先にしないでと言われて、人の命も大切じゃない？って正直な気持ちになりました。今でも私は自分の命より人の命を優先するという行動をしてしまっているので、お父さんによく、人を守りすぎて言われることがあります。確かに人の命も大切だけど、自分の命も大切にしようと思いました。

松茂中学校 3年 (ba) ちょっと話が関係なくなるんですけど、ボクにはいとこが2人いて、そのいとこが結構やんちゃなんです。よくケンカしたり、物壊したり、祖母の家のいろんなところ壊したりして、結構ヤバいんですよ。いつもケンカばかりしてるんですけど。だいぶ前に聞いた話なんですけど、1人のいとこが学校でいじめられてたらしくて、「えっ」てなったんですけど、そのいじめてた人が、確かボクの幼稚園の頃の一番の友達だった子だったんですよ。それで驚いて。でも、そこから関係なくなって。自分がどうこう言える立場じゃなくて、無力さを感じて。その当時、今もですけど、いとこに何もしてあげられなかったことに申し訳なさを感じてます。



松茂中学校 1年 (bl) 人の命の重さは平等だって言われて、わかるわかる完全に理解したと思って、完全にわかってる人っていないと思うんですよ。平等ってこういうことねっていうんじゃなくて、だいたい感覚的に、ああわかるわかるみたいな。はっきりとはわかってないと思うんですよ。なんでって思うじゃないですか。完全に理解してるわって思ってる人もいると思うんですけど。けど普通、人の命の重さって分かる人いないと思うんですよ。何？50kg？みたいな。そういうのじゃないから。だからはっきりとわかる人はこの世にはいないと思うんですよ。でもそれでも人の命の重さって

いうのはあるから、平等にしないとイケないんですよ。要は、人はさっきのトロッコ問題の話みたいに、暴走トロッコが来てて2つに道が分かれてて、1人がめちゃくちゃ稼いでて、有名で、しかも心優しい人。しかしもう1人が、ギャンブルとかパチンコにすべてを注いで無一文になっているような人がいたとして、どっちがいい人かと言ったら、みんなどっち選びますか。そりゃお金持ちでやさしい人ですよ。ギャンブルをしてる人って思った人は、ギャンブルはやめましょう。わかるわかる、お金かかるの俺も知ってるから、かわいそうだからそっち助けるみたいな、そういうのはやめましょう。話が脱線したので元に戻して。だから仮にその人が性格が悪くても、もう1人の人が性格がよくても結局は同じ人なのに、なんで命の重さが平等と言えるのかってところですよ。なんでギャンブルをしてる人が下の人間だと言われなきゃならないんでしょうか。同じ人間で、同じ価値があるはずなのに、なんでここまで格差が生まれるのかっていうことです。だから私が言いたいのは、たとえどんなに落ちぶれた人だとしても、たとえどんなに上がった人だとしても、同じ人間だから価値は変わらないってことです。価値は変わらず助けようって。そういう気持ちが必要なんじゃないですかね。かといってトロッコを俺が止めてやるって、立ちは大かけてトロッコ



コに引き殺されたけど勢い失って止まってみたいな、自分を殺すのはやめましょう。自分の命も他人の命も大切なんです。たとえば、イケメンだとしても同じ。そしてお金持ちと、+100万円と-100万円の人だとしても、同じ人間。同じ扱いをして、自分と他人の差をなくしていこうと思います。ちなみに今暴走しているトロッコをどうして止めるかという、レバーを真ん中にして脱線させましょう。そういうことは置いて、命の差をこれからなくしていくことが大事だと思います。

藍住東中学校 平野 命の重さという話になってきたときに、私子どもおるんですよ。たぶん命の優先順位が自分か娘かという話になると、たぶん娘優先すると思います。それはキミたちの親御さんもそうだと思うし、たぶん祖父さん祖母さんの世代にしても、そういう位置づけになるんじゃないかなと想像します。じゃあ順位づけをするべきではないということもあるとは思いますが、けど今現在ですよ、ウクライナで戦争してるじゃないですか。たぶんそれこそ一日で何百人、何千人で死んでると思うんですよ。けどそれを気に留めて、うわーって思ってる人の中に何人いますって話になるでしょ。とすると、命の重さというか、優先順位ってどういうふうになるかって、ボクなりに考えると、関わりだと思ってるんですよ。その人と自分がどれだけ関わってるか。その関わり具合によって、本当に失敗したりとか、この人は救わなアカンって飛び込める力になったりとか。けど、まったく知らない人に飛び込める勇気のある人もおるかもしれん。けど、たまたま自分の横におった人が、ちょっと古い話で新宿の事故にはなってしまうんですけど、線路に転落した人を助けようとして韓国の人と日本人2人が亡くなったっていう事故もあ

るんですよ。それを見て、危ないと思って飛び込める人もおるし、関わりが薄いからちょっとそこは、という人もおるし。さっきのトロッコ問題にしても、4人が自分と関わりのある人か、その1人が関わりのある人かっていうので、レバーの引き方が変わってくるのかなって。だからボクは人とのつながりとか、そういうことが命の重さ、にしたらアカンのかなって思っています、今。cfくん、どうですか。



徳島科学技術高校 2年 (cf) 今日午前中に話したあとに、この話をするのは嫌なんです。なんでかってね、皆さんが凄すぎて。だってボクは今回のあのスライド。受験をする、これから人生のいろんな場所に挑戦する、その人たちに向けた、夢を追うっておもろいことやぞってという紹介をしましたよ。けど、あなたたちがハイレベルすぎるせいで、ボクがその先の話をしななければいけなくなってしまったので、夢を追うことの難しさの話になってしまうんですが。前提として、夢を追いかけるのは絶対楽しい。ボクは今、しんどい思いをしてるけど、楽しんでる。その前提で聴いてくれませんか。ボク、さっきも言ったとおりにね、夢を追いかけて科技高に入って。科技高に入った理由の1つが、海洋学部なん。2つめがマリリサーチクラブっていう、部活がある。マリリサーチクラブって何かっていったら、簡単に言ったら生き物を飼う部活なん

よ。例えば、クマノミだったり、ベタだったり、アロアナとか。みんなが知つとるような飼育の簡単なものを飼って。ボクはさっき、なりたい自分ていう話とか、個性ていう話を聞かせてもらったんですが、ボクの午前中話した部分で、なりたい自分になろうとする力の強さとか、逆に自分の個性を愛していくことの楽しさていうことを話したけど、ボクはそれを追っかけて、それを必死に求めて高校に入って、マリナリサークルクラブに入って、一番最初に担当したのがベタだったんよな。ベタって、ちっちゃい、これぐらいの小魚で、赤いひらひらの尾ひれがついとる可愛い魚なんやけど。飼育も簡単なんよ。でも、ボクは当時何も知らないペーペーなんよ。だって、学ぶために来てるんやから。でもボクの周りの人は、何もボクに教えてくれなかったわけよ。飼い方とかさ。先輩とか先生とか普通教えてくれると思うやん。何も教えてくれなくてさ。何をしたいかわからん。八



方塞がりな状況になっちゃったんね。それで悔しい話、初めて担当した生き物を、半年とかそこらで死なせてしまったんね、そのベタを。ごっついベタが好きでさ、ボク。ベタやーんでさ、餌あげて、掃除してってしてたけど、ボクには知識がないから、その掃除の仕方が間違えていて、その命を死なせてしまったんよ。ホンマに悔しくてさ。たかが小魚1匹生かしてやれん人間が水族

館作る？なめんって思ったんよ、自分でも。でもボクは、生き物の命は平等に扱うべきだと思うし、みんなが言うように。人間だけじゃない。生き物の命は全部平等に扱うべきだと思ってたから、その小魚1匹にでも学びがほしかった。その子が生きた理由をつくってあげたかったから、その子を解剖させてくださいって先生に言った。病気で死んだかもしれん。もしかしたら。何が原因で死んだかもわからなかったから、当時は。教えてくださいって言いに行ったん。でも、その日ちょうど先生がおらんくて遺体は置いてたら腐っちゃうから。どうしようって。そうや、冷蔵庫に入れろって先輩が言ってくれた。じゃあ冷蔵庫に入れよう。それで、部活がないので、ごめんなさい殺してしまいましたって。そのころ、ボクが担当といえ、もっと上に先輩とかおったんよ。ベタの担当の責任とるような人が。けど、ボクが一番手が込んで、一番頑張ってた自信があったから、自分が送ったん。こうやって生き物を殺してしまった。この子の生きた理由をつくってあげたい、ボクの学びにさせてくれって、先生にLINE 送った。それで先生から返って来た。その返答は、生き物は冷凍したら菌が死ぬから、なんで死んだかももう分からんよって言われた。何も教えてくれなかった。悔しいよ。だって、そんなことある？って。確かにたかが小魚1匹。たかが小魚1匹に思い入れし過ぎとったのもあるとは思うよ。でも、初めての担当で、人生初めての飼育で。夢を追いかけて来た先のものだったから、悔しかったよ。悔しかったんよ。でも彼らは、そんなのわからんよ。終わり。分かるわけないやん。知識のないお前には、そんな対応してしまったお前には、もう分かる権利すらないってわけです。命ってホンマに平等？その小魚を全力で思ってたボクのことを、「たかが小魚1匹やろ、そ

んなん知らなくていいわ。冷凍したんだろ、そんなの分からんけん」。それだけで放置する、この重さの比って絶対違うやん。ボクは生き物に助けられてここまで来たし、水族館という生き物をわざわざ自然から切り取って、引っ張り出して、それでも陸上で人間に見せて伝えるためにためにやる仕事。その生き物のすばらしさを知ってほしいがためにやる仕事をしに来たんよ。そんなことはないだろうって思うやん。それボクからしたら生き物は、自分を引っ張り上げてくれた守るべきかけがえのない存在よ。それがそんな扱いされて、もうそれが悔しくて悔しくて仕方なくて。それから勉強しまくったんよ。生き物の勉強。どんな種類の、どんな分類がされて、どんな飼育があるか。どんな機材があって、そんな勉強しまくってさ。それでようやく2年生になって分かったんよ。あの部活は酷いってことが。濾過システムは下手くそ。冷却システムはない。生き物への管理はずさん。部員は餌やったら帰る。何なこれって。これが生き物を飼うってことか。わざわざその辺からむしり取ってきて、飼いもしない生き物のときもある。ウミウシとかも持って帰ることもあるけど、あの子たちは飼えないんよ。難しいから。でも持ってくる。持ってきて殺すか、そのまま生きてまま、餌も食わんから、そのまま死んでもらうか、取ってきた場所から別の場所に返す。それって生態系に悪影響なんやけど。夢を追ったボクにはあまりにもって思うやん。こんだけやったのって。でもボクは生き物を一切粗末にするつもりはないよ。ここまでされたけど。何なら、勉強して、やる気も出して、発表もして、いろんところでやってきて、ボクは今回部長になれなかった。6月。会計だった。部長候補に2人名前が挙がって、ボクともう1人の友達の名前が挙がって、友達が部長になって、ボクは副部長でもな

く会計になった。たぶん顧問から面倒くさいと思われたんやと思う。それでも、生き物に対して、命は平等だって言われない世界かもしれんけど、平等だなんて言ったら、すごい偽善のように聞こえるんよ。だって、だってさ、どこかでみんな思うやん。イワシが1匹死んだ。あの水槽の中の巨大なイ



ワシトルネードの中におけるイワシが1匹死んで、誰が解剖する？誰がそんなんいちちやる暇がある？それでもボクは、なんでその子が死んだかとか、その子が死んだのなら、ボクらは自然からその子を切り取ってやる仕事やけん、奪ってくる仕事よ。死ぬまで飼う仕事よ。だからこそその子たちには命をかけなきゃいけない。生きて意味をあげなきゃいけない。だって自然界に返すわけじゃないから、自然界で死んだら骨になって、その骨を食べる生き物がいる。これは生きて意味になるやん。死んだ意味にもなる。でもボクらはむしりとってくる。そこで殺すんだったら、最大限ボクらの学びにしなきゃいけない。難しいけど、命はたぶんこの世で平等だと思ってる人がおったら、すごいと思う。ホンマに。平等じゃないと思ってしまってるんよ。人間でさえ優先順位をつけると思う。どんな場面でも、どんな場所でも。それは誰だってそうやと思う。つけんでおれる人は凄いやと思う、ホンマに。でもボクはそんなに強い人間じゃない。そんな余裕がある社会はボクがめざ

した場所にはなかった。でも、生きてたんやね。人間だけじゃないで、生きてたのは。その辺で死んだ猫だってそうや。カラスだって、虫だってそう。だからこそボクらは、生きて誰かに伝えて、それを面白がってあげればいいんじゃないかな。個性とかさ、自分の面白いところとか、感じたこととかを誰かに伝えるって、それって自分が生きて意味やん。それを受けとってあげるの、その子に生きて意味をつけてあげることやとボクは思う。命に優先順位がつくかつかんかは、重要じゃないけれど。その命にどう向き合うかは、すごく重要だと思います。ていう、ちょっと暗い話でした。

鳴門渦潮高校 1年 (ci) 先輩がおっしゃるのは水族館ですけど、ボクは料理人になること。先輩の夢は生物を生かすこと。料理人で、生き物を殺す職業なんですよ。殺して、料理して、美味しかったって言ってもらう職業なんですよ。ボクは釣りはしないんですけど、魚はさばくんですよ。ボクは骨まで食べたい派なんですよ。骨をたとえばフライにしてとか、干してとか。それが命を大切にすることとは言い切れないけど、でも先輩が言ったみたいに、その子が今まで生きてきた、生きて作ってきた骨を、ちゃんと全部食べてあげるっていうのは、ボクなりの命の大切をにする仕方なんですよ。今日のお弁当にもいっぱい、言い方悪いんですけど、いろんな命が詰まってました。それを皆さんは、今日お弁当を食べるときに、ちゃんと「いただきます」と「ごちそうさまでした」を、ちゃんと心の底から言えたって言い切れますか。ボクは絶対言い切れます。いつもそうしてます。そうしなきゃ失礼じゃないですか。生きてきたその子たちに対して。

これはさっきの休みのときに先生と話してたんですけど、ボクが話した優生保護法

について。それは、障がいをもっている人とかを根底からなくそうっていう法律だったんですよ。でも先生が話したのは、なくなったら怖くない？っていう話だったんですよ。たとえば優生保護法の当事者だった人たちが、もし死んでしまったら、優生保護法があったっていう歴史はなくなるのかっていったら、そうじゃないじゃないですか。先輩の言葉借りたら、そのその人たちが強制不妊させられた。それに意味を持たせれるのは、今のボクたちしかいないっていうふうに思いませんか。その人たちはまだ死んだわけじゃないですけど、意味もないまま、そんな自分の体を子どもが産めない体にさせられて、そのまま死んじゃうのって、嫌ですよ。悲しいですよ。あんまり考えがまとまってないまま言っちゃったんですけど。今皆さん生きてるってことに意味を持たせるには、ちゃんと、たとえばご飯を食べるときとかに、「ありがとう」とか、「いただきます」って、もっと心から思っほしいなっていうふうにボクは思いました。

鳴門渦潮高校 1年 (cj) この中で「無職転生」見た人います？手を挙げて。じゃあ、「無職転生」の内容をすべて言える人。今から言う「無職転生」の話の、まず最初の内容としては、前世の男っていう人がトラックにひかれて転生するっていう話なんですよ。転生する理由にもちゃんと裏があったりするんですけど。前世の男が、女子高校生と男子高校生がもめ合ってた、そこに横からトラックがめっちゃ速いスピードで来るんですよ。そこを守るっていうところから始まるんですよ、物語が。そこで前世の男が、転生っていう形になるのかな。それで転生したところが異世界の普通に火を片手で操るみたいな、片手で波動拳が出るみたいな感じなんですよ。チート能力が使えるみた

いな。「無職転生」はそういうのじゃなくて、「ルーデウス」っていう、前世から転生した「ルーデウス・グレイラット」っていう男になるんですけど、その「ルーデウス」が、ちっちゃいころから大人になるまでの成長を描いたっていうのが「無職転生」なんですよ。その「無職転生」が1期から2期まであって、今回の話は2期なんですけど。1期を見てない人は1期から見てほしいんですけど。2期で「ルーデウス」が、約17かな、それくらいになるんですよ。17・18くらいの、俺よりちょっと上くらいかなっていうときに、お父さんが「パウロ」っていう人が。ネタばれ？今日見るっていう人は耳ふせてもらって。「パウロ」っていう人が、「ルーデウス」に「ゼニス」っていうお母さんがおるんですよ。2期は後半から入るんですよ。その「ゼニス」というお母さんが、救出はできるって最初は言ってたんですよ。「パウロ」のお父さんが。けどその途中に、「ルーデウス」が結婚して、ちょうど生活が豊かになったときに、救出不可というワードが出たんですよ。そこから「ルーデウス」は仲間を揃えて、「パウロ」のところに行って、前世を助けるっていうお話なんですけど。言っていていいですか。ネタばれなんですけど、「パウロ」死ぬんですよ。ごめんなんやけど、「無職転生」の2期で「パウロ」っていう「ルーデウス・グレイラット」のお父さんが死んじゃうんですよ。なんで死んだかっていうと、「ヒュドラ」っていう男女の魔物が「ルーデウス」が炎の「詠唱魔術式」を「無詠唄」で振ったと同時に「ヒュドラ」の頭のもう片方が打ってくるんですよ。そういう攻撃を打ってきて、よけれなかったんですよ、「ルーデウス」が。それを助けてくれたのが「パウロ」だったんですよ。ちょうどそのときに攻撃を受けて「パウロ」が死んじゃったんですよ。そのあとに「ヒュドラ」も倒されて、普通

だったら読者からしたらこれは凄い残念なことなんですけど、そのあとのお話もあって。（「省け」）じゃあ、「パウロ」が死んで、そのあとに「ゼニス」が助かったんやけど、脳があまり動いてない。植物状態のような感じ。そのような状態やから、人としてどうなんかみたいな状態で。「ルーデウス」の家庭を持った家に帰るんよ。そこでいざこざがあって。「ゼニス」は何もできんよ。頭の状態が植物状態やから。手とかも動かせないよ。植物の状態の人を、今の皆さん介護できます？っていうのを、聞きたかったんですよ。ちょっと話変わるんですけど、今はこの状態で、今の生活の状態で豊かになってる状態で、植物状態の「ゼニス」を支えられるっていう人もいるかもしれません。けどそれが植物状態だからという理由ではありません。命の重さっていう話したじゃないですか。「ゼニス」は「パウロ」の奥さんなんです。「パウロ」は「ルーデウス」をかばって死んだわけじゃないですか。「ルーデウス」は「パウロ」の子どもなんですよ。（「言いたいところだけ言おう）簡潔に言うたら、「ルーデウス」をかばった「パウロ」っていうんは、自分的にはお父さんやから、親子やから子どもを守りたいやん。やから自分を犠牲にしたわけよ。自分の命を犠牲にしてまで子どもを救いたい。だからそのことを言いたかったんやけど、説明した方がいいかなって。命の等価交換みたいな。そういう作品があった、みたいな。

藍住東中学校平野 要点が掴みにくいので、簡潔に言わせてもらいます。魔法が使える世界で、要は何でもありなんですよ。何でもありの世界で植物状態になって、生命として反応もない。自分を救うために死んでいった親がいる。それと植物状態になって何の反応もしない、自分が息子かどうかも分からないような母親を、そのまま介護し

たりとか、もしくは生活を全部補助したりとかっていうことができるかどうかという話で。もう一つ言うと、脳死判定をした患者さんの尊厳死っていうのにも広がると思うんですね。尊厳死を認めるか認めないか。人として脳が働いていないから、もうこれは人じゃないから生命を断とうっていう話になるのか、それとも、いやこれは人だから、人の手で殺すのはどうかっていう話です。そうですね。

土庄中学校 1年 (bv) 個性についての話で、雰囲気っていう話をして。クラスの雰囲気が変わることによって自分が変わって、自分が変わることによってクラスの雰囲気も変わって、人権学習を通してそういうことがあるのは、とてもいいことだなと思いました。校外の友達で、気軽に暴言を吐くような子がいて。その子は人権学習をしてなくて。いろんな都合で。学級の。で、たぶんそのクラスもしんどいんだろうなって思いました。人権学習をしてよくなれたクラスはとてもいいと思うけど、逆に全然できてないクラスは悲しいなってすごく思いました。



松茂中学校 3年 (ba) ボクは cf さんの話を聞いて。小学校高学年のときに金魚を飼ってたんですけど、大切に育てていたんですけど、ある朝起きたら死んでしまってた。たぶんそのときボクそんなに知識もなくて、どうすればいいんだろうって。とりあえず、

土に埋めてお祈りしたんですけど。cf くんみたいに、なんで死んだかっていうのを、もっと自分が知識入れて調べればわかったのに、そしたらまた次金魚飼うときに、もっとうまく、長生きさせられるっていうのがあって。今は何も飼ってないんですが、今度何か生物飼うときに、もし死んでしまったら、その時まで知識蓄えて研究していきたいなって思いました。



松茂中学校 1年 (bm) cf 先輩の話を聞いて、私は犬を2匹飼ってたんですけど、そのうちの1匹のメスが亡くなっちゃって。死ぬ前はぎゃあぎゃあずっと鳴いてたらしく、なんでだなんてだってなって、お母さんもパニックになって。一応病院に行っただんですけど、先生に聞いた結果、たぶん寿命だってって。私もあったタブレットで検索してみましたが、寿命だということしか出ず。意味不明の状態を命を消してしまってた。お母さんはずっと15年間、ずっとその犬と一緒に過ごしてきた。お母さんの方が一番つらいんだなっていうことを知りました。次の日にお墓参りに行って、焼いた骨とともに写真を飾っているんですけど、嫌な言い方かもしれないけど飾ってるんですけど、お母さんは今でも犬の誕生日のとき

は高級なドッグフードを置いています。



松茂中学校 1年 (bl) みんな cf 先輩の話聞いて、私もペットがいるとかいう体験をして、同じような体験をしましたよみたいなことをしたじゃないですか。私もそういう体験があって。確か5歳ごろの記憶なんですけど。実家で飼ってたキャバリアっていう犬がいて、名前をマエロって言ったんですよ。昔、追っかけられてましたね。向かいの家の白い犬に一目ぼれしてたりとか。もう私を見つけた時には私は毎回追いかけて回されてました。しかし私が8歳ぐらいの頃、寿命を迎えて。ある日実家に行ったらいなかったんですよ。どうしたの？って言ったら、死んだんだよって言われました。土の中に埋められていたんですが、そこで感動的な話があって。あれっ、お墓の近くにもう一個お墓っぽいのがあるんだけどって言ったら、前に死んだ犬の子もそこに埋めたんだよって言ってました。そして去年の夏、とてもいいことがありましたね。ハローズにいたんですけど、最近犬飼いたい、犬飼いたって言ってたから、小5の夏ぐらいに飼おうっていうことになって。ペットショップに行ったんですよ。そしたら売れ残ってた犬がいて、安いし買おうかって買って買ったら、色とか大きさとか、死ぬほど見た目が死んだ犬にそっくりだって。なぜか売れ残ってたんですが。口が出っ張ってるんですけど、その出っ張りが少なく

て。その犬を買ったあと、名前何にしようかってなって、まあサンサっていうことになりましたね。そして、サンタロウとかサンとか、そういう感じで言われてたんですけど。その犬、見た目がそっくりなんですけど性格もそっくりなんだろうなって思ってたけど、死ぬほどおとなしくて。その後は大変で、この前は3キロくらい朝歩かされて。まあこれからもつきあっていこうと思います。



松茂中学校 3年 (bc) ちょっと時間がヤバいので、めちゃくちゃ短くして早口めにしゃべろうと思います。ボク今日のやつで、夢とか命の重みとかよりも、ボクは生きる生きがい。生きがいについて考えたときに、やっぱりアニメの「Re.ゼロ」っていうアニメで、「レム」って子が「魔獣共闘」ってやつをもらったときに言った一言が、ボクは思い浮かんで。「レム」が死ぬ理由と、「レム」の生きる理由をお前らが奪おうとするのかっていうシーンで。人間自分の生きたい理由と死ぬ理由をもって死ねんかったら、絶対何か悔いが残るなっていうことを思ったので、それを伝えたいなと思ったんで発表したけど。みんな1個だけ考えてほしいんやけど死ぬ理由と、生きる理由って、何かありますか？何ができたら死ぬ、自分のしたいことができたら死ぬ。自分のしたいことがあるからまだ生きるっていうのが、たぶんみんなだと思うけど。その「レム」っ

ていう子は、「スバル」って子が奪われたんで、「レム」から生きる理由と、それを奪うのかっていうので発表しました。



松茂中学校 3年 (bb) ボクは au さんの短所を長所に変える言葉が、ボクの心に残りました。ボクにも短所はたくさんありますが、毎日短所は嫌だなんて思うときがありますが、ボクは人とのコミュニケーションが苦手っていう短所があるんですけど、ある友達からその短所は見方を変えれば思いやりがあるっていう長所に変えられるんじゃないかって言われて、本当にうれしかったです。ボクが言いたいのはこれだけです。



松茂中学校 1年 (bj) 私は au さんの発表を聞いて、au さんは身長のことですが、私も身長が低いのがコンプレックスで悩んでたんですけど、それも自分のいいところかなと

思っていて生きていこうかなと思いました。

中山中学校 3年 (ce) 「なりたい自分」というスピーチを聞いて。私の短所が緊張しやすく、こういう発表も結構緊張するタイプなんですけど、短所を長所に変えてもういっそ長所だらけにしたらいいか、そういうのを聞いて、とてもいい考えだと思ったし、この交流会でみんながたくさん発表してるのを見て、自分も頑張りたいと思いました。



司会者 (af) 心の準備をして、「無職転生」のつづきを見ることができます。それで命のことについては、皆さんがもう全部言ってくれたので、auさんとaaさんのやつで、自分から見た長所と、向こうから見た長所って全然違うって思ってて。自分から見たら全然短所で、もう嫌だって思ってても、向こうから見たらいいなって思ってることがすごい分かりました。だからこそ、こういう会とか、近くの交流とかで、気づけるものがあるってことに気づけたし、それでこの会に参加してそれに気づくって言うことができるaaさんもすごいなって思いました。

司会者 (af, an) まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで全体会午後の部Ⅱを終了したいと思います。皆さん、ご協力ありがとうございました。有意義な話し合いができたと思います。今日の話し合いをきっかけに人権問題をさらに深く考え、各学校

に持ち帰ってください。

それでは、全体会午後の部を閉じることにします。ありがとうございました！

